

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

6月定例会の審議内容を報告します！

第160号

発行／新発田市議会
編集／広報広聴委員会



しばたっ子台輪

写真に写るのは、新発田の伝統「新発田台輪」を次世代に継承するために、子ども向けに制作された「しばたっ子台輪」です。子ども達が力を合わせて元気いっぱい台輪を曳き、まつりを盛り上げてきました。

現在、「しばたっ子台輪」は台輪運行300周年をPRするため、まつり開催に先駆け8月31日（月）までヨミネスしばた1階札の辻広場に展示しています。ぜひ、実際に触れて、その魅力を体感してください。

【城下町新発田まつりは8月27日～29日まで開催されます】

4月臨時会

本丸中学校の長寿命化改良工事を進めます。

●契約の締結(本丸中学校長寿命化改良工事 北棟 建築)

<総務常任委員会>

安全面や機能面の改善を図るとともに老朽化した校舎の内部・外部(床、壁、天井、屋上、外壁等)を将来にわたり長く使い続けることができるように改良工事を行います。



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の更なる実現を目指し、小中学校のタブレット端末を更新(入替)します。

●財産の取得について(小中学校1人1台タブレット端末購入)

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 新発田市以外で共同調達に参加した市町村はどこか。物価高の影響がある中、前回の調達時と比較し、今回調達した端末のスペックや購入費用は向上・増加したのか。



A 共同調達には、新発田市以外で阿賀野市、十日町市、弥彦村が参加した。今回調達する端末はiPad第10世代。購入金額は、前回の約3億4千100万円に対し、今回の契約額が約3億6千700万円で費用は増加している。

Q 新しいタブレット端末はいつ頃から使用できるのか。小中学校全ての学年で一斉に入れ替えるのか。

A 9月から順次入替を進め9月中旬に全校入替が完了する予定である。小中学校全ての学年で一斉に入れ替える。

6月定例会

旧御免町幼稚園を児童クラブに改修します。

●契約の締結について(旧御免町幼稚園改修(建築)工事)

<総務常任委員会>

幼稚園から児童クラブへの用途変更のため、防火設備の改修、空調設備の入替、トイレ・手洗いの改修、照明のLED化、屋根・外壁の塗装、駐車場の整備などを行います。



小型動力ポンプ付積載車を3台購入します。

●財産の取得(新発田市消防団小型動力ポンプ付積載車)

<総務常任委員会>

老朽化に対応し計画的な更新を行い小型ポンプ車を配備します。



主なものをご報告します

6月定例会

令和8年10月1日より0歳から2歳までの子どもの医療費(通院費)の自己負担額を無料にします。

●新発田市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 助成対象となる人数は。

A 現時点で約1,500人ほどが対象となる。今年度は半期分だが、これから生まれる子どもたちも対象となっていく。

Q 無料化に伴う市の予算額はどのくらいになるのか。

A 1年間で約1,500万円であり、今年度は半期となるため600万円から700万円ほどと見込んでいる。



新発田地域広域事務組合議会の議員定数の削減を承認しました。

●新発田地域広域事務組合同規約の変更について

<総務常任委員会>

人口減少に伴い、新発田地域広域事務組合議会の議員定数を15人から12人に削減し、構成市町から選出する議員の人数を新発田市7人、胎内市3人、聖籠町2人とする案を承認しました。



新発田地域広域事務組合庁舎

中学校部活動の地域展開を支援します。

●地域クラブ活動推進事業

FMしばたで地域クラブの紹介を行うほか、体験会の開催や備品購入を進めます。

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 地域クラブについてFMしばたでPRを行うこととなった経緯は。

A 子ども達の声や活動する様子について積極的に発信していきたいという思いから、FMしばたに相談したところ企画の意図が合致し放送することとなった。



県の補助金を活用した省エネルギーの農業用機械を導入する農業者を支援します。

●主要作物振興支援事業

燃油使用量や肥料費の低減のために必要な直進をアシストする田植機やコンバインなどを導入する事業者に補助を行います。

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 物価高騰により農家からは、農機具も高騰していると聞く。この事業の補助は、一般的な農機具には活用できないのか。

A この事業では、IoTやAIといった先端技術を活用し、効率化や燃油使用量の低減、肥料費の低減などにつながる農機具について県が補助の対象としている。そのため対象は、通常より高額な農機具となっている。



アシスト機能付き田植機

議案の審議内容の主なものをご報告します

4月臨時会・6月定例会

詳細およびここに記載以外の議案は
市議会ホームページをご覧ください。



4月臨時会



6月定例会

主な議案等に対する賛否の一覧

4月臨時会	議第4号	契約の締結について(新発田市立本丸中学校長寿命化改良工事(北棟 建築))	全員賛成
6月定例会	議第6号	農業委員会委員の任命について	全員賛成
	議第8号	新発田市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	全員賛成
	議第10号	新発田地域広域事務組合理約の変更について	全員賛成
	議第13号	契約の締結について(旧御免町幼稚園改修(建築)工事)	全員賛成
	議第15号	令和8年度新発田市一般会計補正予算(第2号)議定について	全員賛成
	議会第1号	地方財政の充実・強化に関する意見書	全員賛成
	議会第2号	「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書	全員賛成
	議会第3号	「義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に係る意見書	全員賛成

6月定例会 人事案件

● 農業委員(同意)

再 任：中村 正人氏、小池 信義氏、阿部 國範氏、加藤 康弘氏、相沢 久明氏、星野 幸雄氏
村田 研悦氏、湯淺 生夫氏、笠原 昭栄氏、若杉智代子氏
新 任：赤塚 恵子氏、石黒 俊一氏、武藤 直樹氏、加藤 雅之氏、渋谷 淳氏、
本間 徳英氏、小野 敏氏、中野 佑一氏、高橋 明美氏

● 人権擁護委員(適任)

新 任：井浦 貴子氏



一般質問

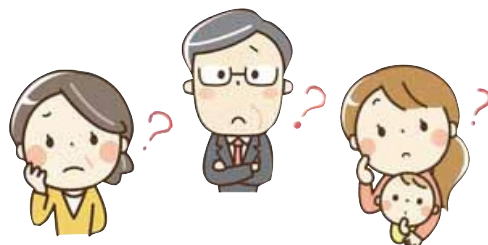
今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 子どもの居場所について

➤ 長 島 徹 議員



- Q 新発田市総合教育会議で不登校児童生徒の居場所について議論をしていただきたい。
- A 近々行う会議では不登校児童生徒に絞り込んで行いたい。
- Q ひきこもり支援の「い～ばしょしばた」を不登校児童生徒の新たな居場所の一つとして活用できないか。
- A 現在の管理体制では難しい。これからの課題として総合教育会議の中で考えて行きたい。

- Q 3市1町の広域エリアで一つの、学びの多様化学校の設立が必要と考えるが。
- A 各自治体が主体となり、不登校対策に取り組んでいる中、設置を求める声がないことから設立する考えはない。



Q1 持続可能なまちづくりのため財政の影響度合いに応じた事業について Q2 個別避難計画策定について

➤ 五十嵐良一 議員



- Q 人口減少社会の中で事業運営の見直しが必要と考えることから、今後は市民一人ひとりの生産性を向上させ、資本的集約型で税収増を目指す事業運営が重要と考えるが見解は。
- A 市独自の施策を新規又は拡充し、限りある財源を有効活用するため「選択と集中」を継続し「未来への投資」と「健全財政の堅持」を両立する。

- Q 災害時要援護者および避難行動要支援者支援に関する個別避難計画作成の進捗状況は。
- A 支援が必要な方に届くよう対象者要件を見直した。個別避難計画の作成主体を本人・家族とし自治会等が支援する体制とした。





Q1 中東情勢の緊迫化と市の産業・経済の影響は
Q2 市民の災害危機意識の醸成について

渡邊 喜夫 議員



- Q** ホルムズ海峡閉鎖を懸念。農業、運輸業、製造業、商業の影響は。
- A** 農業は肥料や資材高騰でコスト上昇。運輸業は燃料費高騰で経営圧迫。製造業は原料調達の遅延。
- Q** 自主防災組織活動の状況と市の評価は。
- A** 自主防災組織の全世帯カバー率は95%、避難所運営委員会は70%カバー。危機意識は高まっている。

- Q** 低所得者世帯等へ非常持出袋や防災用品購入の補助制度を。経済的格差で命を守る備えが出来ないことがないように。

- A** 防災用品の普及、促進が期待されるが、対象者、公平性、財源に課題。

※他に「主食用米の過剰作付けの課題と対策」を質問した。



防災用品・非常持出袋



Q1 ふるさと住民登録制度について
Q2 市内観光施設の共通チケットの導入について

広岡 けんじろう 議員



- Q** 国が創設する「ふるさと住民登録制度」について、本市はどのように認識し、今後導入や活用を検討する考えがあるか。
- A** 関係人口拡大の手法として注目しているが、詳細な運用や財政支援が未定である。今後、活用の可能性について研究する。
- Q** 市内文化・観光施設の利用者増加と周遊促進を図るため、共通チケットや周遊券を導入する考えはあるか。

- A** 共通チケットは観光客の周遊促進や消費拡大につながる有効な手法である。導入の価値はあるので、強く研究を進めていく。



Q1 新発田市産米の安定供給に向けた都市部との連携強化について

惣山 かすみ 議員



- Q** スタディーツーリズム交流事業の効果は。
- A** 海老名市に給食米提供、足立学園高校に体験で植えた米を販売。平日の宿泊も。受入れ農家はやりがいと所得に繋がっている。
- Q** 米価の変動に左右されない農家の安定した販路拡大のため、首都圏への給食米提供を目指しては。
- A** 縁があってできたこと。PRもするが紹介あればよい。

- Q** 米の消費地と生産地の15自治体でつくる「コメがつなぐ自治体間農業連携首長協議会」(コメサミット)に参画しては。

- A** 今のところ、生産地加盟が多く加盟料もかかるので、メリットは薄いが見て注視する。





Q1 次は中学校給食の無償化を
Q2 スクールバスの安全確保について

● 高橋 芳子 議員



- Q 8年度の食材費の値上げはあるか。
- A 現時点で影響は見られない。
- Q 国における基準額の検討や財源確保の動きは。
- A 動きはない。全国市長会で今月10日国に要望することを決議した。
- Q 市独自に負担の半額を支援できないか。
- A 約8千万円の財源が必要で国の負担軽減開始に合わせる。

- Q スクールバス運行学区、バスの台数、利用人数は。
- A 8小学校区、2中学校区、35台、1208人利用。
- Q バスの運行管理と連動したドライブレコーダーを導入し児童生徒の安全を確保すべきでは。
- A 集中管理ができるドライブレコーダーの研究はしていきたい。



Q1 消費者相談員の知識向上と心のケアについて
Q2 高校生の交通安全と交差点の改善について

● 中村 こう 議員



- Q 相談員の知識向上に向けた対策は。
- A 県の消費生活センターの研修会への参加等知識向上に努めている。
- Q 相談員の心のケアも必要では。
- A 深刻な相談での市職員の同席やメンタルヘルス相談の対策を整えている。
- Q 高校生に自分自身の護身という認識を持ってもらうための自転車ヘルメット着用アップ対策を提案する。

- A 提案された『まちづくりドラフト会議』のテーマに取上げてもらう等進めていく。
- Q 中央町交差点(市役所前)の自転車通行帯復元や車道の矢印信号設置をすべきでは。
- A 新発田警察署や関係機関等へ働きかけていく。



Q1 特殊詐欺から市民を守る対策について
Q2 トクリュウ型犯罪と青少年の情報モラル教育

● 若月 学 議員



- Q 高齢者被害の実態を市としてどのように認識しているのか。
- A 重大問題として警察機関と連携し被害防止対策を講じる。
- Q 詐欺被害を未然に防ぐ活動内容は。
- A 高齢者の見守り声かけ等、孤立防止活動に取り組む。
- Q 被害防止対策強化月間など設定しているか。
- A 設定していない。

- Q 小中学生のスマートフォン所持率を把握しているか。
- A 把握していない。国の調査で使用機としての割合は、小学生約48%、中学生約84%。
- Q 闇バイト防止対策の教育方法について。
- A 新潟県SNS教育プログラムや国作成の犯罪防止教育に沿って指導。





Q1 観光案内所の移転と今後の対策について

三母高志 議員



- Q 本年5月、当市の観光案内所は「えきまえ」、「まちなか」、「道の駅加治川」の3か所となった。それぞれの役割について。
- A 「まちなか」は観光案内の総合拠点として清水園、寺町などの紹介を、「えきまえ」は観光スタート地点としてマップやレンタサイクル業務に特化、「道の駅加治川」は広域観光の拠点としたい。

- Q えきまえ観光案内所の移転に伴って旅行者を迷わせない対策が必要だが、駅構内から案内所までの表示強化や視認性の改善策について。

- A 駅からの導線は利用者の声を参考に、わかりやすい誘導を行っていく。



Q1 企業誘致について

Q2 投票率低下と投票困難者対策について

宮野清隆 議員



- Q 人口減少や担い手不足により、将来新発田の農業が縮小することが懸念される。将来の新発田を支えるため中核企業を誘致すべきと考えるがいかがか。
- A 新発田の基幹産業である農業を将来も持続可能なものとするため、スマート農業化を目指していく。農地を用地とする企業誘致を進める考えはない。

- Q 高齢による投票困難者に対し、投票機会確保のため高齢福祉施設との連携が重要と考えるがいかがか。

- A 介護施設・高齢福祉施設などと連携を強化し、投票機会の確保に努める。移動期日前投票は今後の課題として検討したい。



Q1 市役所窓口受付時間の見直しについて

Q2 当市における「主権者教育」について

小坂博司 議員



- Q 国は窓口開庁時間を短縮する方針を示している。全国の自治体においては短縮する動きが広まっているが、当市でも検討してはいかがか。
- A 窓口の時間外勤務の常態化は、喫緊の課題。受付時間の縮小に向け早急に研究を進める。見直しに際し市民サービス向上を第一にスピード感を持って進める。

- Q 国は、社会の中で構成員の1人として主体的に担う力を身に付けさせるとしている。当市の「主権者教育」の進め方は。

- A 主権者教育が目指す政治への積極的参加、社会参加意識の醸成等は教科の学習や学校行事等を通じ実践している。





Q1 人口減少による教育現場の諸課題と展望

● 宮本佳太 議員



- Q カルチャーセンター人工芝グラウンド照明の改修は。
- A 事故報告もなく、近隣住民の生活圏との調整を要するため、改修予定なし。
- Q 課外活動・部活動でバス利用時の安全性担保策は。
- A 契約内容を組織で確認する体制とした。
- Q 保護者負担増加による部活動地域移行への弊害は。
- A とらい夢等の関係機関と連携しながら理解を求めている。

- Q 未成年SNS・AI利用制限の条例化含む対応検討は。
- A 適正利用の啓発に留め、条例化は検討していない。
- Q 「私立大4割削減案」を受け敬和学園大学との産学官連携強化は。
- A 年2回有識者会議での意見交換を通じて連携要請に応える。



Q1 就学援助制度の拡充を

Q2 平和教育と教育の政治的中立性について

● 加藤和雄 議員



- Q 物価高や部活動の地域移行等を踏まえ、認定基準、支給対象の拡充はできないか。
- A 認定基準は県内でも手厚い支援だ。支給品目や単価は、毎年度、見直しているので拡充する考えはない。
- Q 支援が必要な家庭に制度が十分届いているか。
- A 学校を通じ案内文書の配布や連絡メール等、周知に努めている。

- Q 辺野古の事故での教育活動に対する文科省見解が、市内小中学校の平和教育や主権者教育に影響を与えると考えるか。
- A 影響を与えているものとは考えていない。
- Q 平和学習を充実させる考えは。
- A 指導内容や方法を工夫し、さらなる充実を働きかけていきたい。



Q1 ミス多発の市政運営について組織上の問題点

Q2 学校送迎バスの安全性と運用実態の問題点

● 小柳はじめ 議員



- Q 一連の問題にどのように関わり対策を取るのか。
- A DX化の推進によって再発防止を図るが人の思い込みが原因だ。
- Q 市長は職員の緊張感のなさを挙げたが多選による組織統治の問題が根本原因では。
- A そのようなことはなく個々の職員の問題であり最終的には管理者の責任だ。
- Q 更に問題が噴出し「晩節を汚す」くらいなら今期で身を引いたらどうか。

- A 後援会からは続投を依頼されているが現在は熟慮中だ。
- Q 通学バスで白バス運行の通報があった。
- A 調査したがそのような事実はない。
- Q 事故による運行不能の把握は。
- A 交差点事故と圍場転落の2件を把握している。





Q1 福島潟の新発田市側に花づくりをすべきだ
Q2 重要な人口減少対策 国に何を求めるのか

宮村 幸男 議員



- Q** 福島潟の新潟市側はどんばす池や蓮池があり花が見られる。新発田市側も県と協議し花づくりができないか。
- A** 地域の植栽や維持管理に対する気運醸成が図られた際には、植栽場所や方法等について県に対する協議や働きかけを行っていききたい。
- Q** 国勢調査では東京一極集中解消も地方創生も失敗し、首都圏の農村部でも人口が減少

した。人口減少対策として、市が特に国に求める施策は何か伺いたい。

- A** 東京一極集中の加速と地方の疲弊は改善されていない。人口減の本質的対策である子育て支援等の対策は、国の責任で実施すべきと考える。



Web議会報告会を開催しました!!

「幅広い世代の方々に議会に興味をもってもらうため、ライブ配信でリアルタイムの意見交換がしたい」という思いで開催しています。ご自宅等で気軽に視聴できるWeb議会報告会の配信を今後も続けていきたいと考えています。

今回のWeb議会報告会については、右の二次元コードから視聴することができます。



6月5日(金)午後7時から、令和8年度予算について、市議会で集中的に審議した事業等を中心に報告しました。



当日の視聴者数は26名でしたが7月以降、視聴回数は250回を超えています。



議会報告会について

検討チームを立ち上げ今後の開催方法等を協議しました!!

議会報告会は「新発田市議会基本条例」の趣旨に基づき、「開かれた議会」を目指し年2回実施してきました。

しかし、参加者数の減少が課題となっていました。

そこで1期目の議員を中心に、検討チームを立ち上げ、今後のあり方について3回にわたり話し合いを行いました。

検討チームでは、従来どおりの形式で開催自体を目的とするのではなく、参加者との接点の持ち方そのものを見直す時期に来ていると認識を共有しました。



これまで開催した議会報告会の様子

その
結果

今年度秋の開催は
「バスツアー＋意見交換・ワークショップ」を
基本案としました!!

参加者が楽しめる要素のあるバスツアー型を採用しつつ、単なる施設見学にとどまらず、見学先、移動中、終了後等に意見交換やワークショップを組み込み、参加者との対話を重視し充実した内容としたいと考えました。



今年度秋の議会報告会は

11月28日(土)、29日(日)に開催します!!

詳細及び参加募集については、次号(11月2日号)の市議会だより「ヨミネスしばた」でお知らせします。ご期待ください!!

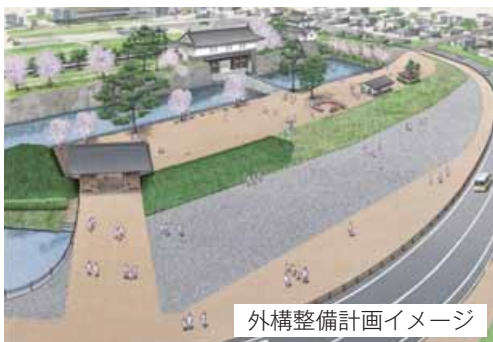
新発田城土橋門 整備事業説明会



〈6月10日(水)〉 議場

新発田城土橋門復元整備基本計画の概要について新発田市教育委員会文化行政課から説明を受けました。

市の貴重な歴史・文化資産である「新発田城」の価値を次世代へ継承するとともに、地域の誇りの醸成や観光振興、地域活性化につなげることを目的として進めている事業です。

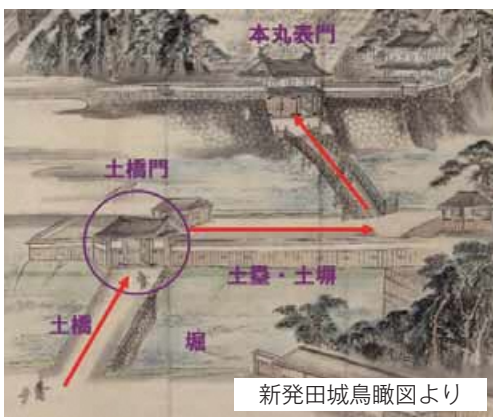


外構整備計画イメージ



土橋門復元予定地の現在

●土橋門復元整備基本計画のほか、土橋門復元の意義、土橋門本体の復元計画、外構整備計画、土橋門整備事業の財源、今後のスケジュール等について説明がありました。



新発田城鳥瞰図より



土橋門本体の復元イメージ

●復元には、歴史的な資料や学術的な知見に基づき、可能な限り史実に忠実な整備を目指していると説明がありました。



●文化行政課の説明後、議員からはより良い事業推進となるように意見等を伝えました。



研修・視察の報告



令和会・新友会・公明党

南九州市では、知覧特攻平和会館で出撃隊員の遺書や遺品を目の当たりにし、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える必要性を学びました。

鹿児島市観光農業公園(グリーンファーム)は、農畜産物や農産加工品などの地域資源を活用しており、本市の米倉農村公園のスケールを大きくしたものの(41.3ha)との感がありました。

霧島市の小浜ビレッジは、空き家や既存建物をリノベーションし、地域住民や関係事業者と連携し、交流人口の拡大、地域活性化を民間主体で柔軟に取り組んでいるところが本市のキネスシリーズとの違いでした。



知覧特攻平和会館
5月19日 鹿児島県南九州市



鹿児島市観光農業公園
5月20日 鹿児島県鹿児島市



小浜ヴィレッジ
5月21日 鹿児島県霧島市



公明党

長岡市では先進的に令和7年度から学校作業療法の導入を行っており、具体的な支援内容をはじめ作業療法士の雇用形態、人件費等の財源確保等について視察しました。現場の声として児童がより主体的に活動に参加できたことや、保護者と学校の関係性が良好になったケース等の効果に関心を深めました。当市でも発達支援体制の充実に繋がることから更なる情報収集と考察を進めていきます。

学校の作業療法士配置の取組について

5月12日 新潟県長岡市



高校生の探究ゼミに議員が参加

新発田中央高等学校(探究ゼミ) × 新発田市議会

前編

新発田中央高等学校(担当：加藤皓生教諭)から協力依頼があり、5月25日(月)から7月24日(金)まで、5回にわたり同校の「探究ゼミ」の授業に市議会議員7名が参加し、3年生の生徒10名と活発な意見交換を行いました。

市議会議員としても未来を担う高校生の考えに直接、接することができる貴重な機会となりました。

今回は、前編として生徒から出た意見をご紹介します。次回号(11月2日号)の後編は、生徒の発表や感想等を掲載する予定です。



探究ゼミのねらいについて上山校長から説明を受ける市議会議員



== 探究ゼミ名称 ==

地域の未来をデザインする高校生
— School Based Town Planning ゼミ —

【ゼミのねらい】

- ・生徒の社会参画意識の醸成
- ・自ら地域社会を考え創る

新発田についてどう思う？

- ・遊ぶ所が少ない
- ・市に盛り上がりがない
- ・働きたくなる職場がほしい
- ・フェスを誘致してほしい
- ・空き家やイベントでカフェ販売をしたい
- ・街の課題などについて全生徒にアンケートを取ってはどうか
- ・人口減少、人口流出の問題がある

生徒から出た
主な意見

探究ゼミのねらいと議員の役割

この探究ゼミの授業は、高校生を地域社会を共に創る「主権者(構成者)」と位置づけたうえで、自分の住んでいる地域の課題や可能性を自ら見つけ、考え、行動するプロセスを通じて、主体的な社会参画の意識を育むことを目指したものです。

議員が生徒に特定のテーマを与えるのではなく、生徒が自分の考えを自ら発言するよう促し、他の生徒と意見を交わしながら、グループとしての意見がまとまるよう一緒に考えながら進めました。

議会からのお知らせ

議員表彰

全国市議会議長会から表彰された議員を紹介します。



中村 こう 議員（議員在職 35 年）

若月 学 議員（議員在職 15 年）

湯浅佐太郎 議員（議員在職 15 年）

小柳はじめ 議員（議員在職 15 年）

小坂 博司 議員（議員在職 15 年）

議会を傍聴してみませんか



みなさんも
傍聴にお越し
ください！

市議会では市民に身近な問題を審議しています。

市民が市議会における審議状況を知ることができるように、本会議や委員会を原則として公開しています。

市民はもちろん、だれでも本会議や委員会の状況を直接ご覧いただけます。

お詫び



市議会だより159号の最終ページ、「市議会議員報酬引上げへ賛成多数で議案可決」の表中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

（誤）「改正後の報酬額（H 9. 5. 1 適用）」

（正）「改正後の報酬額（R 9. 5. 1 適用）」

議会からのお知らせ

9月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1	2	3	4 議会運営委員会	5
6	7	8 本会議 (提案理由説明) 決算審査特別委員会 (財務課長説明)	9	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12
13	14 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	15 常任委員会 (総務)	16 常任委員会 (社会文教)	17 常任委員会 (経済建設)	18 決算審査特別委員会 (第3セクター) 議会運営委員会	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25 本会議 (補正予算等採決)	26
27	28 決算審査特別委員会 (総務関係)	29 決算審査特別委員会 (社会文教関係)	30 決算審査特別委員会 (経済建設関係)	10/1 決算審査特別委員会 (市長総括質疑)	2	3
4	5 議会運営委員会	6	7 本会議 (一般会計決算 議案等採決)	8	9	10

※請願・陳情の提出期限は8月31日です。※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

本会議を生中継しています

市議会ホームページで生中継します。
下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

ラジオは録音放送しています

①FM放送

エフエムしばた(76.9MHz)による放送は、本会議一般質問及び代表質問のみを録音放送します。(放送日程はエフエムしばたのホームページなどでご確認ください)



②インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページバナーから聴くことができます。
(放送日程は①FM放送と同じ)



編集後記

今年も新発田の夏の最後を飾る「城下町新発田まつり」がもう間もなく始まります。今年は祭りの華「しばた台輪」の運行が始まって300年の記念の年にあたります。台輪と言えば、前輪を持ち上げては落とす「あおり」が有名ですが、昔は、道路事情が悪く前輪が地面にめり込

んだり、方向転換などの必要があるため前輪を持ち上げていたのが現在の「あおり」になったとの説があります。時代が変化しても伝統を守り、変化にも対応しながら「しばた台輪」が次の400年を迎えていただきたいものです。

(文責 長島 徹)

【広報広聴委員会】委員長／板倉久徳 副委員長／宮野清隆 委員／惣山かすみ・高橋芳子・長島徹・中村こう

